

期末最終日は同志社大学京田辺キャンパス見学会

1. 目的 総合学習の一環として、高校卒業後の進路についての視野を広げる機会を増やし、卒業後「社会」とどうかかわっていくか、真剣に考えるきっかけとする。具体的には、今後夏休みにかけて、より多くのオープンキャンパスに積極的に参加し、職業人インタビューにも真剣に取り組む契機とし、自分で情報を集め、分析し、考えることで、3学期の論述テスト「希望進路とその理由、そこで発揮したい力」を書き切る力を涵養する。
2. 日時 7月9日（月）
3. 活動予定（集合・解散）
 - 11:15 北館前バスに乗車 集合・点呼
 - 11:30 みどり清朋高校出発
 - 12:30 同志社大学京田辺キャンパス到着 陸上競技場前で下車
各クラスごとに学生ガイドが出迎え
野外体育施設を見学
 - 13:00 昼食（紫苑館食堂） 学生ガイドと一緒に。
 - 14:00 構内の教室に移動、資料配布
同志社大学についての説明（DVD上映）
学生ガイドの自己紹介等
 - 14:30 施設見学
7班に分かれ（各クラスごと）見学
見学場所・・・良心碑、筒城宮の石碑、ローム記念館・情報メディア館、福利厚生棟、ラーネット記念図書館、歴史資料館、京田辺会堂（チャペル）等
 - 15:30 見学終了、正門前にて点呼、バス乗車
 - 16:30 みどり清朋高校到着 バス内で終礼後、解散
4. 服装 制服（大学見学会であることを意識し、清潔感のある正しい着用の仕方
で。）
5. 持ち物 筆記具、昼食費用500円程度（もしくは弁当）、水筒。（雨天の場合は雨具）

同志社大学ってどんな大学？

進路を考える上で、就職、公務員、短大、四年制大学、専門学校と様々ありますが、「同志社大学」は四年制の私立大学となります。そこで、「同志社大学」の簡単な予備知識について、下に記しておきますので、併せて四年制大学についての知識も深めておきましょう。

その1 「同志社大学」は総合大学

日本の大学は、多様な学部が揃っている「総合大学」（英語では university）と、1学部（1領域）のみに特化した「単科大学」（英語では college）の2つに分けられます。それぞれにメリットがあり、例えば「総合大学」では多種多様な人的交流や環境、研究分野のもと、自分とは違う価値観・考え方に触れるチャンスが広がります。「単科大学」では専門分野に特化した施設や情報が集中して整備され、高度な専門的研究に取り組みやすい環境になっています。「同志社大学」は14学部もの、多岐の領域にわたる学部を持つ、日本でも有数の総合大学です。（神学部、文学部、社会学部、法学部、経済学部、商学部、政策学部、**文化情報学部**、**理工学部**、**生命医科学部**、**スポーツ健康科学部**、**心理学部**、**グローバル・コミュニケーション学部**、グローバル地域文化学部の14。**太字が京田辺校地にある学部。**）

総合大学である同志社大学のキャンパスはさすがに広大で、今出川キャンパスと京田辺キャンパスに分かれ、今回は京田辺キャンパスに伺います。

その2 「関関同立、MARCH」と称された知名度バツグンの大学

皆さんは「関関同立」や、「関西8私大」という言葉を聞いたことがありますか？

世間では、大学の知名度、学力偏差値、就職実績や研究実績によって、大学をカテゴライズして、語呂合わせのように呼ぶことがあります。

「同志社大学」は、関西圏の私立大学では「関関同立」の「同」として昔からゆるぎない知名度を誇っています。学力偏差値的にも関西圏の私立大学の頂点（もちろん学部にもよりますが）と言われている難関大学です。また創設者である新島襄とその妻八重の話がNHKの大河ドラマ（「八重の桜」）にもなった伝統校でもあります。

「関関同立」の残り3校はどこか、知っていますか？「関西大学」「関西学院大学」「立命館大学」です。

「関関同立」に対して、関東圏では早稲田・慶応に次いで「MARCH」が有名です。

「MARCH」とは、明治、青山学院、立教、中央、法政の各大学のことです。最近はこちらに学習院を加え、「GMARCH」と呼ぶこともあるそうです。

これら以外にも、関西では「産近甲龍」、「摂神追桃」、関東では「日東駒専」などという呼び名で称される大学もあります。どこの大学のことが、皆さんはわかりますか？

オープンキャンパス資料収集週間 7/10~7/13

同志社大学訪問の翌日から一週間、いろいろな学校のオープンキャンパス情報を収集できるよう、3Fフロアに資料を用意します。活用してください。